

# 地域県土警察常任委員会資料

(令和6年3月19日)

[ 件 名 ]

- アートピアとっとり行動指針（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について  
【文化政策課】・・・ 2ページ
- 令和5年度企業の女性管理職登用等実態調査結果について  
【女性応援課】・・・ 5ページ
- 第78回国民スポーツ大会冬季大会の結果について  
【スポーツ課】・・・ 6ページ
- 鳥取ジュニアアスリートの発掘・育成状況について  
【スポーツ課】・・・ 7ページ
- 鳥取県スポーツ顕彰の授与について  
【スポーツ課】・・・ 8ページ
- ねんりんピックはばたけ鳥取2024に向けた機運醸成の取組について  
【ねんりんピック・関西ワールドゲームズ推進課】・・・ 9ページ
- 県内文化財の新規国登録について  
【文化財課】・・・ 10ページ
- とっとり弥生の王国シンポジウム開催について  
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 12ページ
- みんなで地方創生事業の執行状況について  
【東部地域振興事務所・西部総合事務所】・・・ 13ページ

地域社会振興部

アートピアとっとり行動指針（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

令和6年3月19日  
文化政策課

第2期「アートピアとっとり行動指針」（令和6年度～10年度）に係るパブリックコメントを実施しましたので報告します。

今回の意見を踏まえ、3月中に第2期アートピアとっとり行動指針を策定し、公表する予定です。

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 募集期間 令和6年2月22日(木)から3月11日(月)まで

(2) 意見総数 23件(5人)

※意見及びその対応結果については、県のホームページを通じて公表します。

2 意見の概要及び対応方針

<意見等の状況>

行動指針の施策方針・取組の方向性		提案意見	質問
Ⅰ 文化芸術に親しむ環境づくり	(1)だれもが文化芸術に親しむことができる機会の充実と環境整備	2	
	(2)文化芸術の拠点である文化施設の充実と新たな拠点づくり		1
Ⅱ 文化芸術が育む・文化芸術を育む人づくり	(1)次代のアートを担い、国内外で羽ばたく人材の育成	1	
	(2)文化芸術を活用した人づくり、文化芸術を支える人づくり	1	1
	(3)鳥取県の文化芸術の活性化	3	
Ⅲ 文化芸術による元気な地域づくり	(1)県立美術館による新しい時代づくり	1	1
	(2)アートによる豊かな地域づくり	3	2
	(3)地域の「宝」を活かした活力ある地域づくり		
その他		5	2

Ⅰ 文化芸術に親しむ環境づくり

意見の概要	意見に対する対応方針	
環境づくりの第一は、県民の生活の中に優れた文化活動や芸術活動が生き継がれることである。そのため、県民の文化活動を活性化させる施策が望まれる。県民の自主的な文化活動を支えるためには、個々の自主性を損なわない程度に、文化支援策の充実が望まれる。	記載済 Ⅱ(3)	文化芸術活動団体及び活動者の活動に対する活動支援や鳥取県文化団体連合会を通じた地域の文化活動団体の活動支援を引き続き行っていくこととしています。
Iの前文に、「 <u>文化芸術が日常生活の一部となり、だれもが、いつでも、身近なところで気軽に(後略)</u> 」と下線部分を追加することで、I(1)の施策実施の理念的根拠として重層化する。	反映	Iの前文に追加します。
I(2)の文化施設は、博物館や劇場・ホールなどの狭義の文化施設だけでなく、図書館、生涯学習センター、公民館その他の公共の集会施設、民間の書店、劇場(映画館含む)、ライブハウス、ギャラリーなど、アートと関わる広義の文化施設を視野に入れ、有機的な連携が図られるべきと考えるが、その視点は盛り込まれているか。また、「地域のさまざまな空間を積極的に活用」には、遊休不動産(空き家等)の活用も含まれるか。	その他	I(2)に記載する文化施設は、基本的には幅広い施設が対象ですが、取組の方向性の内容により異なります。 また、「地域のさまざまな空間」は、駅や文化財施設、ショッピングセンターなど、街中の多様な空間を想定しており、安全性や鑑賞に適した環境であれば、限定するものではありません。

## II 文化芸術が育む・文化芸術を育む人づくり

意見の概要	意見に対する対応方針	
<p>県内で育っている自主的な文化芸術活動の芽を決して摘んではいけない。これまでの「アートピアとっとり行動指針」の活動は、目先の新しい、見栄えの良いものに偏った活動に思えて残念であった。</p>	<p>その他</p>	<p>第2期では、文化芸術活動団体の活動の活性化や若手アーティストの活動の拡大につながる支援を行うとともに、若手活動者の発表機会の提供、レベルアップやコンクール等参加の支援など、次世代育成を強化します。</p>
<p>II (2)「若手アーティストが活動に必要な企画・運営・広報・経理等のマネジメントや専門的な技術等について学ぶ機会を提供」について、アーティスト本人以外の者がクリエイティブディレクターの仕事を選び、アーティストを支援するような仕組みをつくってはどうか。</p>	<p>反映 II (2)</p>	<p>文化芸術活動団体は発表や展示においても長年蓄積されたものがあるが、若い方には団体に属さない方も多く、ノウハウやネットワークの面で必ずしも十分ではない場合もあることから、その支援を強化する趣旨で記載しています。アーティスト本人以外がこうした役割を担う場合もあることから、「若手アーティスト等(後略)」とします。</p>
<p>II (3)「若手アーティストの作品展示や演奏を公共施設で行う(後略)」について、公共施設以外の、公に開かれた私的な場所でおこなうことも想定してはどうか。</p>	<p>その他</p>	<p>若手作家の作品や知名度アップのための新たな項目であり、作品の安全確保の点からまずは公共施設で始めるものです。状況を見て、施設の幅を広げます。なお、全体的な鑑賞機会の創出は、I (2)に記載のとおりです。</p>
<p>II (3)「鳥取県の文化芸術の活性化」の取組の方向性に「文化芸術団体等が抱える運営上の課題に対処し充実した活動を推進できるよう、アーツカウンシル機能の強化による伴走型支援の実施など文化芸術団体等の自律的・持続的な発展に資する取組を進めます。」を加えてはどうか。</p>	<p>記載済 I (2) II (3)</p>	<p>文化芸術団体の自律的・持続的な発展に資するため、県内文化施設によるアートマネジメントなどのノウハウを生かした文化芸術団体への助言や情報提供のほか、舞台作品の創作、舞台芸術に関するワークショップの実施、活動団体・者に対する支援制度や相談窓口などの情報の発信を進めます。</p>
<p>豊かな感性を育むには、小さい頃から質の高い芸術に日常的に触れることが重要だが、親子観覧室は鳥取市だとりぎん文化会館にしかなく、ほんの数人の狭いスペースのみ。子育て世代にとって質の高い芸術に触れる機会がほぼないに等しく、早急に改善すべき。</p>	<p>反映 I (1)</p>	<p>乳幼児が鑑賞できる公演等を増やすこととし、I (1)の取組の方向性について、「子育て中の人が、乳幼児と一緒に鑑賞できる公演、展示を増やしていきます。」を「子育て中の人や乳幼児が鑑賞できる公演、展示を増やしていきます。」に修正します。</p>
<p>若年層向けのプログラムの企画・実施などを担うのは、「アートマネジメント人材」と呼ばれる、アートの価値を言語化し、支援の輪を広げ、形にするコーディネート力を持つ専門人材。そのような人材の地位を確立し、支える仕組みを考えているか。県内や近隣の高等教育機関との連携が有効と考える。</p>	<p>その他</p>	<p>若年層向けプログラムについては、専門の方の助言等を受けたり、企画メンバーの中に参加いただいたりするなどして、実施することとしています。</p>

## III 文化芸術による元気な地域づくり

意見の概要	意見に対する対応方針	
<p>文化芸術による元気な地域づくりのためには、決して組織的な集団やグループを育成したりすることに偏らず、人間の個としての文化性を高める必要がある。経済活動を活性化させるなどという施策に陥ってはいけない。大切なのは「元気な地域づくり」の活動を具現化するには、異なった分野のディレクターの導入が望まれ、優れた民間人を起用すべきである。</p>	<p>その他</p>	<p>県では第2期において取組強化が必要なものとして、次世代育成、取組の進捗状況の低い分野の強化を挙げています。今後、こうした取組が進んでいった先に、取組のさらなる向上のため、専門人材の活用について具体的に検討していく必要があると考えています。</p>

Ⅲ(1)「鳥取県にゆかりのある優れた作品」とは、どのような作品を想定しているのか。アーティスト・イン・レジデンスで鳥取県に招へいたアーティストの作品、鳥取県内で開催される公募展で出品された作品も含まれるか。	その他	県立美術館に関する事項であり、県立美術館の収集方針によります。それによれば、「鳥取県の美術」の流れ(歴史)をたどる上で欠かせない業績を残したと言える作家の代表的な作品や、その特徴を端的に示すような作品です。
Ⅲ(2)「アートを活用した地域・社会課題の解決を目的とした活動を推進し(後略)」とあるが、アートの可能性を意図的に狭めることになってしまうか。	その他	御意見の内容は、アートに期待することとして新たに施策の方針として追加したものです。アートを通じた交流や作品を生かした取組などは、施策の方針の1番目に記載しており、アートの可能性はより広がるものと考えます。
Ⅲ(2)「アーティストの社会貢献を促進します」とあるが、どのような活動を想定しているのか。アーティストが作品制作以外の活動をすることを促進するということなのか。	その他	アーティストによる社会貢献活動は、アーティストが自分のスキルを活かした他者のための活動(有償・無償は問わない。)を想定しています。 (例)音楽家が、移動が困難な高齢者や児童の楽しみや癒しのために、高齢者福祉施設などに出向き鑑賞機会を提供、画家等が作品制作を通じた表現ワークショップを開催など
第1期行動指針にある「県内外のアーティストと住民が交わりながら(後略)」といった表現を復活させることはできないか。	記載済 Ⅲ(2)	施策の方針の1番目で、地域の文化資源やアーティスト等の作品を生かした取組と発信により、人と人との交流を生み出すことを盛り込んでおり、アーティストと住民の交流も含まれています。
鳥の劇場や大山・西郷(工芸アート村)をモデルケースとしつつ、県内各地で同様の成果が上がるような取組があるとよい。県立美術館が拠点・ハブとしてそのような機運が一層高まることが期待される。	記載済 Ⅲ(2)	地域の新たな魅力を創造し、地域の活性化につながる取組については、地域や地元自治体との連携協力が不可欠であり、そうした連携協力を促しながら、引き続き推進していきます。

## その他

意見の概要	意見に対する対応方針	
全般にわたり「文化芸術」と「アート」の表記が混在しているが、どのように使い分けているのか。後者は冒頭に説明があるが、前者は文化芸術基本法上の示す内容と考えてよいか。	その他	行動指針のタイトルである「アートピア」のアートは注釈のとおりです。本文中では、芸術分野を「アート」と表現し、それに加え伝統芸能、生活文化、文化財のほか、伝統行事や風習も含めたより広い範囲を「文化芸術」と表現しています。
冒頭の策定の趣旨に「美しい自然と歴史がいきづく鳥取県には、先人たちが育んできた地域特有の伝統や文化、歴史的資産・景観があり、 <u>これらは地域の礎であり、地域経済に大きな効果をもたらす役割が期待されています。</u> 」と下線部分を追加してはどうか。	反映	「(前略)地域特有の伝統や文化、歴史的資産・景観があります。令和7年3月には、県立美術館がオープンし、(中略)新たな原動力となります。これらは、地域経済に大きな効果をもたらすことが期待されます。」と修正します。
新しい文化芸術の鑑賞方法としてアーカイブの導入が進んでいる状況下で、著作権に対するリテラシーを上げていくことが必要。積極的に著作権者に問い合わせ、著作者の名前を記載するなど適切な処理を行うことについてルール化してはどうか。	その他	県が文化活動団体等から提出された写真等を使用する場合は、著作権について確認するとともに、補助金を交付する文化活動団体等に対しても正しい取扱について注意喚起し、取扱が不明な場合は相談機関を紹介します。

# 令和5年度企業の女性管理職登用等実態調査結果について

令和6年3月19日  
女性応援課

経済団体と連携した女性活躍推進施策の検討のための基礎資料とすることを目的として、企業における管理的地位に占める女性の割合や介護と仕事の両立への課題等について実態調査を実施しましたので、その結果を報告します。

## 1 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に所在する従業員10人以上の事業所  
対象事業所数4,451事業所 回収数1,729事業所 (回収率38.8%)
- (2) 基準日 令和5年9月1日 (調査期間：令和5年9月5日から10月6日まで)

## 2 調査結果の概要

### (1) 管理的職業従事者（係長級以上）に占める女性割合

従業員10人以上の事業所における管理的職業従事者に占める女性割合は28.9%と前回調査（令和2年度）より2.5%上昇した。

区分		全体	役員	部長級	課長級	係長級
従業員10人以上の事業所	目標値	30%以上	—	20%以上	25%以上	35%以上
		(26.4%) 28.9%	(24.9%) 25.6%	(19.2%) 20.5%	(24.5%) 28.1%	(31.7%) 34.6%
うち従業員100人以上の事業所	目標値	30%以上	—	20%以上	25%以上	35%以上
		(26.1%) 27.6%	(15.2%) 15.2%	(18.4%) 15.9%	(24.2%) 27.6%	(30.9%) 33.0%

※ ( ) はR2年度実施の同調査結果

※ 目標値は「第2次鳥取県女性活躍推進計画」（令和2年12月策定）に定める数値目標（R7年まで）

### (2) 管理職に女性を登用したことによる効果

管理職に女性を登用することで、もたらされたと考える効果については、「性別に関わらず、優秀な人材を重要な役職に登用しやすくなった」が42.2%と最も割合が高く、次いで「職場が、育児・介護休業、時間差勤務、在宅勤務などの就業制度が活用しやすい雰囲気になった」が28.0%となっている。

### (3) 女性の管理職登用が進むために重要なこと

女性の管理職登用が進むために重要と考えられるものは、「管理職への昇進に対する女性の意欲喚起」が55.5%と最も割合が高く、次いで「育児・介護と仕事の両立ができる制度の整備」が40.4%となっている。

## 3 今後の対応

管理的職業従事者に占める女性割合は、令和7年度までに30%以上という目標の達成に向けて、着実に上昇しており、女星（じょせい）活躍とっとり会議等と連携して、働きやすい職場環境づくりや女性従業員のネットワーク化等を進め、女性活躍を一層促進していく。

(主な施策)

#### 【女性の意欲喚起】

- ・女性従業員の新たなネットワークづくりのほか、既存ネットワークの活動拡大に対する支援
- ・育児休業中の女性従業員に対するキャリア継続・形成プログラムの実施
- ・ロールモデル発信、セミナー開催等による女性のキャリア意識の向上

#### 【育児等と仕事の両立】

- ・男性育児休業の取得促進（経営者等への研修、職場環境整備のための専門家派遣、事例の共有等）
- ・働きやすい職場環境づくりや女性の人材育成等行う企業への支援や「イクボス・ファミボス」の普及

## 第78回国民スポーツ大会冬季大会の結果について

令和6年3月19日  
ス ポ ー ツ 課

第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック、フィギュア）（北海道苫小牧市）、スキー競技会（山形県上市市・最上町）の結果について報告します。

### 1 スケート競技の結果

- (1) 会 期 令和6年1月28日（日）から31日（水）まで（4日間）  
 (2) 会 場 ショートトラック 新ときわスケートセンター（北海道苫小牧市）  
 フィギュア nepia アイスアリーナ（同上）  
 (3) 派遣者数 12名（本部役員5名、監督2名、トレーナー1名、選手4名）  
 ※国体本戦へは、令和3年の少女女子チーム出場から4年連続、成年女子チームとしては令和4年から3年連続の出場となった。

#### (4) 結 果

##### ・ショートトラック競技

氏名 (所属)	種別	種目	競技成績	
			記録	結果
佐野 泰成 (同志社大)	成年 男子	500m	51 秒 656	予選 4 組 3 位 (予選敗退)
		1000m	1分 48 秒 211	予選 3 組 4 位 (予選敗退)



##### ・フィギュア競技

13位 (昨年7位)

昨年に続いて FS 進出を果たした小嶋孝夏選手

氏名 (所属)	種別	出場者数	競技成績			
			SP	FS	個人総合成績	都道府県別順位
小嶋 孝夏 (法政大学)	成年 女子	16 県	20 位 (46.86 点)	13 位 (88.60 点)	14 位 (135.46 点)	13 位
佐々木 和音 (法政大学)		32 名	32 位 (29.56 点)	—	32 位 (29.56 点)	

- ・SP：ショートプログラム、FS：フリースケーティング
- ・SPの上位24名が翌日のFSに出場する方式
- ・都道府県別順位は、出場者2名の総合成績合計による。



スキー競技鳥取県選手団最高順位の三好選手

### 2 スキー競技の結果

- (1) 会 期 令和6年2月21日（水）から24日（土）まで（4日間）  
 (2) 会 場 クロスカントリー：上山・坊平高原クロスカントリー競技場（上市市蔵王坊）  
 ジャイアントスラローム：赤倉温泉スキー場（最上町富沢）  
 (3) 派遣者数 34名（本部役員9名、監督2名、トレーナー2名、選手21名）  
 (4) 結 果 各種目個人順位上位者

種目	氏名 (所属)	種別	競技成績	
			記録	結果
クロスカントリー	三好 孝文 (陸上自衛隊米子駐屯地)	成年男子C	15 分 48 秒 4	14 位 (57 人中)
ジャイアントスラローム	安田 直也 (米子信用金庫)	成年男子C	24 秒 51	25 位 (132 人中)
	小谷 峻慈 (小竹林業 (株))	成年男子B	24 秒 05	25 位 (76 人中)

### 3 総合成績（スケート・アイスホッケー・スキー競技）

( ) 内数字は昨年の成績

競 技	男女総合成績				女子総合成績			
	得 点			順位	得 点			順位
	参加 得点	競技 得点	合計 得点		参加 得点	競技 得点	合計 得点	
スケート	10(10)	0(6)	10(16)	28 位 (24 位)	10(10)	0(6)	10(16)	25 位 (19 位)
アイス ホッケー	10(10)	0(0)	10(10)	11 位 (12 位)				
スキー	10(10)	0(0)	10(10)	26 位 (22 位)	10(10)	0(0)	10(10)	20 位 (17 位)
総合	30(30)	0(6)	30(36)	32 位 (31 位)	20(20)	0(6)	20(26)	29 位 (26 位)

※アイスホッケーの参加得点は中国ブロック大会の出場により加算

# 鳥取ジュニアアスリートの発掘・育成状況について

令和6年3月19日  
スポーツ課

R5年度「鳥取ジュニアアスリート発掘事業」におけるジュニア選手の発掘・育成状況について報告します。

## 1 事業概要

オリンピック等で活躍する「鳥取育ち」のジュニアアスリートを発掘し、競技団体と連携して専門的に育成するもの（平成26年度より事業開始）。

### (1) 競技体験プログラム・育成プログラム・・・小学5年生が対象（活動期間：1年間）

#### ・競技体験プログラム

R5年度はアーチェリー、自転車、ボート、ホッケー、ライフル射撃、レスリング、セーリング、カヌー、クライミング、空手道、フェンシング、トライアスロン、ボクシング、水球の14競技について、それぞれ年間2回の体験会を実施した。※R6は柔道、テニスを追加。R7に向けて更なる競技数の拡大を検討。

#### ・育成プログラム

アスリートに必要な体力トレーニング、スポーツ教育、スポーツ食育の基礎的なプログラムを1年間継続的に実施した。

### (2) 競技別トライアウト・・・(1)の受講者を除く小学5年生～高校1年生を対象に募集 将来有望な資質を持つ競技者及び競技転向者を競技別選考会により発掘した。

### (3) 鳥取ジュニアアスリート強化事業（県スポーツ協会へ補助）

・・・(1)を修了した小学6年生～高校3年生、(2)で発掘した選手が対象  
選択した競技の競技団体指導下において活動中。

## 2 発掘・育成状況（R5年度）

### (1) 2期生～8期生・トライアウト生 合計149名（令和6年1月現在）

- 2期生（高3）5名 ○3期生（高2～3）10名 ○4期生（高1）19名 ○5期生（中3）10名
- 6期生（中2）16名 ○7期生（中1）13名 ○8期生（小6）25名
- 2018 トライアウト生（高2～3）4名 ○2019 トライアウト生（高1～3）5名
- 2020 トライアウト生（中2～高3）10名 ○2021 トライアウト生（中2～高2）3名
- 2022 トライアウト生（小6～高2）29名

### 【主な成績等】

ホッケー	・GRYPHONE カップ（オーストラリア）優勝 宮脇亜実（八頭中3年）※U15 日本代表として先発出場 ・全国高等学校選抜大会準優勝 八頭高（山中惇生、原田煌久、伊藤優汰、大西礼斗、宮脇壮史、道端晴也）
クライミング （スピード）	世界ユース選手権ソウル2023 5位 河上史佳（鳥取城北高2年） 〃 19位 金谷春佳（鳥取西高3年）
ローイング	・2023 アジアボートジュニア選手権大会 舵手なしクォドルプル2位 佐々木静基（米子工高3年） ・全日本中学選手権競漕大会 男子ダブルスカル準優勝 長谷川侑希（福生中3年）、 石破慶治（加茂中3年） ・特別国民体育大会 少年男子舵手つきクォドルプル4位 大畑奏輔（鳥取城北高3年）、佐々木静基 少年男子シングルスカル5位 岡本成世（鳥取城北高1年） ・全国中学校新人競漕大会 男子シングルスカル優勝 八木谷公奏（鳥取東中2年）
自転車	特別国民体育大会 少年男子個人ロードレース優勝 吉田奏太（倉吉西高1年）
セーリング	全日本女子420級セーリング選手権大会優勝 森山伊織（境高1年）
ライフル射撃	全日本高等学校選手権大会 女子BP60J2位 有本雅歩（鳥取敬愛高1年）
アーチェリー	全日本小学生中学生選手権大会 コンパウンド女子30m3位 梅林杏柚奈（鳥大附属中2年）
レスリング	全国高等学校総合体育大会 女子74キロ級5位 中野咲羅（鳥取東高2年）

### (2) 9期生（小5：33名）

鳥取ジュニアアスリート候補生として認定された小学5年生の33名に対し競技体験プログラムと育成プログラムを実施した。

競技体験プログラムでは、各競技団体コーチ及びジュニアアスリートの先輩たちの手厚い指導を受け、9期生にとり世界を目指す意欲づけとなった。

R6年度は継続意思を示した29名（4名辞退）が競技団体指導下において専門的に競技活動を開始する。



【競技体験プログラム（フェンシング）】

### (3) 10期生・2023 トライアウト生の選考状況

- ・小学4年生82名の応募があり、40名を鳥取ジュニアアスリート10期候補生として選考した。R6年度の競技体験プログラム及び育成プログラムを受講する。
- ・競技別トライアウトにより15名を合格とした。R6年度から競技団体の指導下において活動する。

9期生の競技選択結果			
競技名	男	女	計
アーチェリー	4	2	6
自転車	1	1	2
ローイング	3	1	4
ホッケー	1	0	1
ライフル射撃	0	0	0
セーリング	0	0	0
レスリング	0	1	1
カヌー	0	0	0
クライミング	3	1	4
空手道	3	1	4
トライアスロン	1	0	1
フェンシング	2	3	5
ボクシング	0	0	0
水球	1	0	1
計	19	10	29

## 鳥取県スポーツ顕彰の授与について

令和6年3月19日  
ス ポ ー ツ 課

3月13日（水）に鳥取県スポーツ顕彰授与式を開催し、第19回アジア競技大会及び杭州2022アジアパラ競技大会において優秀な成績を修めた本県ゆかりの選手に「スポーツ顕彰」を、日本代表として顕著な成績を収めた監督、コーチへ「スポーツ功労章」をそれぞれ授与しました。

- 1 日時 令和6年3月13日（水）午後1時から1時20分まで
- 2 場所 とりぎん文化会館2階第3会議室
- 3 受章者

### 【スポーツ顕彰】

大会	選手氏名	競技名	成績
第19回アジア競技大会	とみた ちあき 富田 千愛	ローイング	女子エイト銀メダル
杭州2022アジアパラ競技大会	かわぐち りお 川口 梨央	陸上	女子走幅跳銀メダル
	たつおか ほたる 立岡 ほたる	車いすバスケット	女子銀メダル
	もり たくや 森 卓也	ローイング	男子シングルスカル銅メダル

### 【スポーツ功労章】

大会	氏名	競技名	成績
第19回アジア競技大会	やすい ひろし 安井 博志 [監督]	スポーツクライミング	メダル獲得（金2）
	にしがき ひとし 西垣 仁志 [コーチ]	フェンシング	メダル獲得（金2、銀3、銅5）

前列左より西垣コーチ、富田選手のお父様（代理出席）、川口選手、平井知事、立岡選手、森選手、安井監督



# ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 に向けた機運醸成の取組について

令和6年3月19日

ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課

本年10月に開催される「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」(以下「大会」という。)に向けた機運醸成の取組について報告します。

## 1 県内のファミリーマート全店舗での大会 PR のぼり旗の掲出について

大会に向けたさらなる機運醸成のため、本県と包括連携協定を締結している(株)ファミリーマートの協力のもと、2月20日(火)より県内全店舗及び島根県の一部店舗(70店舗)で大会 PR のぼり旗を掲出いただいている。

【掲出店舗】鳥取県内全68店舗、島根県内2店舗(いずれも安来市)



## 2 全市町村リレーイベント実施について

県内における大会開催機運の醸成を図るため、愛媛県から引き継いだ大会旗を市町村にバトンとしてつなぐ「全市町村リレーイベント」を以下町村において実施し、大会の PR を行った。

①大山町 日 時:令和6年2月25日(日)10時5分～19分  
場 所:中山生活想像館(「なかやま公民館まつり」と併催)  
出席者:竹口大紀町長、(県)盛田地域社会振興部長



2/25 大山町

②若桜町 日 時:令和6年3月3日(日)14時45分～15時  
場 所:若桜町公民館(「若桜の保健医療を考える集い」と併催)  
出席者:上川元張町長、(県)盛田地域社会振興部長



3/3 若桜町

③日吉津村 日 時:令和6年3月10日(日)13時20分～35分  
場 所:ヴィンステ日吉津(「村民芸能大会」と併催)  
出席者:中田達彦村長、(県)盛田地域社会振興部長



3/10 日吉津村

④伯耆町 日 時:令和6年3月17日(日)10時15分～30分  
場 所:JR 伯耆溝口駅前(「溝口春の彼岸市」と併催)  
出席者:森安保町長、(県)池上統轄監



3/17 伯耆町

## 3 大会に向けた協賛金の提供について

県内の企業、団体より、大会協賛金を提供いただいたことを受けて、盛田地域社会振興部長から感謝状を贈呈した。

### ①シセイ堂デザイン株式会社

日 時:令和6年3月13日(水)13時30分～45分  
協賛金額:50万円  
出席者:シセイ堂デザイン株式会社 植木 誠 代表取締役  
(県)盛田地域社会振興部長



### ②医療法人養和会

日 時:令和6年3月19日(火)14時30分～45分(予定)  
協賛金額:50万円  
出席者:医療法人養和会 廣江 智 理事長  
(県)盛田地域社会振興部長

# 県内文化財の新規国登録について

令和6年 3月19日  
文化財課

令和6年3月15日（金）に開催された国の文化審議会（会長 <sup>きとうまこと</sup>佐藤信 東京大学名誉教授）は、県内1箇所4件の建造物を国登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申しました。

## (1)文化財の名称 1か所4件

大樹寺 本堂、開山堂、僧堂、鐘楼 （八頭郡八頭町福地408） 4件

## (2)文化財の特徴

文化財名	特徴等	建設年代等
大樹寺 本堂、鐘楼、 開山堂、僧堂	<p>八頭町福地の山の斜面に位置する曹洞宗の寺院で、私都（きさいち）城主の菩提寺としての起源を持ち、天正年間の秀吉の鳥取城攻め後、1655年に現在地に再建された。現在の建物は、大正から昭和にかけて造営されたもので、境内には八頭町指定文化財の有楽椿（うらくつばき）や宝篋印塔（ほうきょういんとう）を有する。</p> <p>由緒のある寺院で、大きな屋根を持つ本堂、長い歴史を物語る多くの位牌を祀る開山堂や、鐘楼のほか、昭和29年の建築当時は中国地方唯一であった専門僧堂（僧侶になるための修行を行う施設）を有し、地域の歴史的景観を形成している。</p>	<p>本堂：大正9年建築</p> <p>鐘楼：昭和29年建築</p> <p>開山堂：昭和26年建築</p> <p>僧堂：昭和30年建築/平成23年改修</p>

## 【位置図】

至 鳥取



至 若桜

【写真】



本堂 外観



鐘楼 外観



開山堂 外観



開山堂 内観



僧堂 外観



僧堂 内観

(3) 今回、国で答申が行われる建造物の概要

登録数	今回答申分		累計
	121件		14,151件
時代別登録件数	江戸以前	34件	2,551件
	明治	32件	4,448件
	大正	27件	2,873件
	昭和	28件	4,279件

(4) 鳥取県の状況

①鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後・未告示含む）

国登録文化財	国指定・選定文化財	県指定・選定文化財
(263)	(18)	(26) ※
269	126	332

( )内は建造物の数  
※「彫刻及び建造物」  
1件含む

# とっとり弥生の王国シンポジウム開催について

令和6年3月19日  
とっとり弥生の王国推進課

令和6年3月16日に青谷上寺地遺跡に関する最新の研究成果を広く情報発信することを目的とした、とっとり弥生の王国シンポジウム「続々・倭人の真実」を開催しました。県は平成30年度から国立歴史民俗博物館や国立科学博物館と青谷上寺地遺跡出土人骨の共同研究を行ってきており、その成果を発表したシンポジウムは平成31年、令和3年に続き3回目となります。

## 1 とっとり弥生の王国シンポジウム「続々・倭人の真実」

- ・日時 3月16日(土) 13時～17時
- ・会場 とりぎん文化会館 小ホール(参加約200名)
- ・概要 日本列島に暮らした「倭人」とは、どのような人びとだったのか。そして、弥生時代の青谷上寺地遺跡にはどのような人びとが集い、暮らしていたのか。考古学と人類学のコラボレーションにより明らかになってきた最新の研究成果を紹介すると共に、パネルディスカッションを通じて「倭人の真実」に迫る。

### ・講演等の概要

#### 講演1「倭人の成り立ち - 青谷上寺地遺跡出土人骨のゲノムを読む -」

神澤秀明(国立科学博物館 人類研究部研究主幹)

DNA分析など最新の自然人類学の研究から見えてきた青谷上寺地遺跡出土人骨に関する最新情報を紹介。遺伝的に多様であることから、青谷には外部から多くの人々が集散する都市的な場所であった可能性を示唆。古代日本人において遺伝的多様性を明らかにした初めての事例。またDNA分析の結果、復顔像を制作していた第一頭蓋の個体が若い男性だったことを報告。

#### 講演2「弥生時代後期の青谷上寺地遺跡に集いし人びと」

濱田竜彦(青谷かみじち史跡公園 課長補佐)

人骨群の考古学的検討を通じて、青谷上寺地遺跡にどのような人びとが集い、暮らしていたのかを考察。

#### 講演3「青谷上寺地遺跡出土遺物にみる倭人の食料事情」

門脇隆志(青谷かみじち史跡公園 文化財主事)

青谷上寺地遺跡から出土する動物遺体の研究をもとに、弥生時代の人びとの生業と食料事情を考察。

#### 講演4「先端科学が解き明かす青谷上寺地遺跡の人びとの生活」

瀧上 舞(国立科学博物館 人類研究部研究員)

青谷上寺地遺跡出土人骨の最先端の理化学分析を通じて、当時の人々の食生活や出身地に関する可能性を提示。

#### パネルディスカッション「倭人の真実」

コーディネーター 藤尾慎一郎教授(国立歴史民俗博物館 教授)

遺伝的多様性、渡来的な要素、散乱する人骨群の理解、食料資源からみた人びとの暮らしぶりや特性などを取り上げ、都市的集団の実像について意見を交換。国立歴史民俗博物館の坂本稔教授による講評では、青谷上寺地遺跡に対して「幕末の開港直後の横浜」を思わせるとの感想が披露された。

## 2 今年度製作した復顔像について

10代前半の保存状態の良い頭蓋骨をもとに復顔像を製作。この個体は骨格に男性的な特徴が観察できないことから、長く女性と考えられており、殺傷痕のある少女の骨として紹介していたが、復顔像製作のために実施した核DNA分析でY染色体が確認され、男性と判明。若年のため、男性的特徴が骨格に現れてなかったものと考えられる。

核DNAの分析により、目(まぶた)の形状が二重であること、目の虹彩が黒っぽいこと、肌の色がやや濃いことなどの特徴が明らかになった。



復顔に用いた頭蓋骨

## 3 開園に向けた今後のスケジュール等

### (1) 内覧会(復顔像除幕式)

- ・日時 令和6年3月20日(水・祝) 午前10時半～正午
- ・内容 報道機関、地元関係者等を対象にした施設概要、展示説明。若年男性の復顔像お披露目。

### (2) 開園セレモニー

- ・日時 令和6年3月24日(日) 午前10時～10時半
- ・内容 開園式典にあわせ、広く公募した展示施設愛称発表・表彰、青谷弥生人そっくりさんお祝い大集合をステージで実施、その他地元による弥生グルメ出店、古代米を使った餅つき等を予定。

## みんなで地方創生事業の執行状況について

令和6年3月19日  
東部地域振興事務所  
西部総合事務所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の実情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部地域振興事務所及び西部総合事務所において実施している「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

### 1 東部地域振興事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
佐治地域未来創生スタートアップ事業	<p>令和5年8月の台風7号災害を契機に、「災害に強いまちづくり」に住民が一体となって取り組む地元主体の活動を支援した。</p> <p>&lt;支援した取組内容&gt;</p> <p>①アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間：1月～2月</li> <li>対象者：佐治地区住民 約1,400人</li> <li>概要：「災害に強いまちづくり」及び佐治町の喫緊の課題に取り組む上での現状と問題点等の把握</li> </ul> <p>②先進事例調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日：2月28日(水)</li> <li>参加者：佐治町内リーダー 14人</li> <li>視察先：岡山県高梁市</li> <li>内容：「災害に強いまちづくり」の先進事例の視察調査</li> </ul> <p>③災害に強い地域を考える集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：3月10日(日)</li> <li>参加者：佐治町内リーダー 53人</li> <li>場所：プラザ佐治記念ホール</li> <li>内容：「災害に備えて、ふだんから私たちに出来ること～過去の災害から学ぶ～」(基調講演)、佐治町における台風7号災害復旧及び先進事例視察調査報告・アンケート調査の集計結果概要(報告)、防災ゲーム「防災クロスロード」、防災ワーキング、グループ毎による発表</li> </ul>	<p>災害に強い佐治町創り事業実行委員会(小谷繁喜会長)</p> <p>※佐治地区の各関係団体(12団体)により12月に結成。台風7号災害を契機にしたまちづくりを目的に活動中</p>	800,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主体的に行なう台風災害からの復旧・復興活動の契機となった。</li> <li>県の働きかけにより「災害に強い佐治町創り事業実行委員会」が設立され、住民による防災・減災の継続的な活動が開始された。</li> <li>実行委員会は、行政機関と連携し、自治会及び自主防災組織の強化に向けた活動を推進する予定。</li> <li>被災1年後の節目には「佐治復光祭」開催を計画中(令和6年8月頃)。</li> </ul>
				 <p>3/10 災害に強い地域を考える集い・グループワークの様子</p>
「頑張れ雨滝」地域復興事業	<p>令和5年8月の台風7号災害を契機に、観光地「雨滝」を核とした地域振興や賑わいづくりにつながる地元主体の活動を支援した。</p> <p>&lt;支援した取組内容&gt;</p> <p>①リニューアル後の雨滝観光を考える集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：2月25日(日)</li> <li>参加者：雨滝自治会、おおかや郷づくり協議会役員、ガイドクラブ、国府町内リーダー等 38人</li> <li>場所：大茅地区公民館</li> <li>内容：講演「リニューアル後の観光地「雨滝」を見据えて」</li> </ul> <p>②被災状況アーカイブ化</p>	<p>おおかや郷づくり協議会(山本幸徳会長)</p> <p>会員52名</p>	800,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の誇りである「雨滝」の復興活動により地域住民のやりがいに繋がり、地域が一丸となって活動を開始した。</li> <li>県支援により実現した雨滝の「復興看板」やお土産開発(かき餅)の成功体験により地域住民の復興に対する士気が高まった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要：災害状況の記録としてパネル制作「おおかや交流館」にてパネル披露</li> </ul> <p><b>③雨滝復興看板設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設置日：2月29日（木）</li> <li>設置場所：雨滝集落入口</li> <li>概要：復興応援と復旧工事期間中の閉鎖案内を表示</li> </ul> <p><b>④雨滝お土産開発～試食会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概要：開発中の新しい土産菓子（水しぶきや滝をイメージして作られたかき餅）の試食会を実施（2回）</li> </ul>			 <p>雨滝の「復興看板」</p>
<p>災害を契機としたまちづくり支援に係る研修会</p>	<p>令和5年8月の台風7号災害を契機にした「まちづくり活動」（佐治地区、国府町雨滝）の動きを踏まえ、振り返りや検証を共有し災害に強い地域づくりを推進するため東部地区地域づくり研修会（3月21日）を開催予定。支援事業を取り上げた記事とタイアップした研修会を周知</p>	<p>県</p>	<p>339,900</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民による災害に強い地域づくりの必要性を訴求する。</li> </ul>
<p>合計</p>			<p>1,939,900</p>	

## 2 西部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
<p>大山お地蔵さまフェスティバル</p>	<p>「大山とお地蔵さま」とのふれあいを通して、地域の子供たちの「心の成長」と「郷土愛の醸成」を図り、地域の宝を守り次世代につなげていくことを目的として行われた本事業の開催経費の一部を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和5年5月14日（日）</li> <li>会場：大山寺参道周辺、大山総合体育館</li> <li>来場者：県西部地域の子供たち・保護者、大山寺参道利用者等 約800名</li> </ul> <p>&lt;主な事業内容&gt;</p> <p>①お地蔵さま清掃 大山寺参道のお地蔵さま及び参道をお子たちと一緒に清掃活動やスタンプラリーを行った。</p> <p>②お地蔵さま作品展示 地元の保育園・幼稚園児を対象に「お地蔵さま」をテーマに塗り絵、絵画の作品を募集し展示した。フェスティバル当日に表彰式を実施した。</p> <p>③ステージイベント 子供たち主体のステージ演技のイベントを実施した。</p> <p>④アトラクションイベント 働く車（高所作業車、ショベルカー）試乗体験を実施した。</p>	<p>鳥取県西部中小企業青年中央会</p>	<p>200,000</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お地蔵さまの清掃活動において、清掃前に日本遺産（地蔵信仰）について参加者への説明やお地蔵さま絵画コンクール・作品展の実施を通して、地域住民の日本遺産への認知や理解を深め、愛着を育むことができた。</li> <li>インスタグラムによる情報発信等周知活動を積極的に行い、西部地域内外から約800名（計画時600名）が参加し、地域の賑わいを創出した。</li> <li>民間が主体となって、日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」の再認定（R4.7月）記念事業として実施したことにより、官民連携による日本遺産の情報発信や機運醸成、日本遺産を活用した地域活性化にもつながった。</li> </ul>
<p>川内優輝選手によるミニマラソン・講演会</p>	<p>令和5年10月29日開催の「弓ヶ浜シーサイドマラソン」のゲストランナーとして元世界陸上代表の川内優輝氏が来県することから、この機会を活用して、小中学生を対象としたミニマラソンや一般を対象とした川内氏の講演会の開催経費の一部を支援した。</p> <p>【ミニマラソン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和5年10月28日（土）</li> <li>会場：どらドラパーク米子陸上競技場</li> <li>参加者：小・中学生32名</li> </ul>	<p>弓ヶ浜シーサイドマラソン実行委員会</p>	<p>500,000</p>	<p>【ミニマラソン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加した小・中学生からは、川内選手と一緒に走って、走る楽しさを感じた。サイン色紙は部屋に飾って励みにしているといった感想や、質問コーナーでは、ほとんどの参加者が川内選手へ質問をする等陸上競技への興味関心の向上にもつながった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要：指定距離（トラック 3 週～5 週）を川内選手と小・中学生と一緒に走り一人一人に声をかけ交流した。</li> </ul> <p><b>【講演会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和 5 年 10 月 28 日(土)</li> <li>・会 場：皆生グランドホテル天水</li> <li>・演 題：「世界のマラソン」</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>世界 22 カ国 61 回出場したマラソンの体験や走り方のこつをはじめ、川内選手の父親が米子市内の高校を卒業された縁で幼少期は何度も来県された時の話等</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者：翌日の弓ヶ浜シーサイドマラソン参加者等 約 120 名</li> </ul>			<p><b>【講演会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンイベントの前日に講演会を開催することにより、マラソン県外参加者の皆生温泉等への宿泊に誘導できた。</li> <li>・川内選手は、今回を機に、これからも来県しレースに参加したいとの思いもお持ちであり、今後の交流も期待できる。</li> </ul>
計			700,000	